

工学部 理工工学科

原子核工学コース

<https://www.ne.t.kyoto-u.ac.jp/ja>

■ 量子の科学と工学

原子レベルのミクロスケールは、粒子と波動の二重性を持つ量子の世界です。20世紀初めに量子が発見され、その二重性による不思議な現象は、量子力学で説明されています。そして今では、量子ビーム、レーザー、半導体、超伝導、エネルギーなど、さまざまな分野に利用されています。21世紀はこのような量子の科学や、それを応用した工学がどんどんと生まれ、物質、エネルギー、生命、環境などに役立てられることになるでしょう。

■ 原子核工学コースの構成

原子核工学コースは、学部では理工工学科・原子核工学コース、大学院では原子核工学専攻という名称で、4つのグループ、10の分野（研究室）から成り立っています。各グループ・分野が協力しあって、量子の科学と工学について研究と教育を行なっています。



原子核、原子、分子というミクロレベルの視点から最先端科学を切り開く量子テクノロジー

新しい物質の創成、新しい機能を備えた素子の開発、信頼できるエネルギー源の開発など、従来の工学分野にとられない学際的な研究